

第九十回帝國議會 衆議院 恩給法の一部を改正する法律案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

恩給法の一部を改正する法律案
(政府提出)

昭和二十一年八月三十日(火曜日)
午前十時三十四分開議

出席委員

委員長 北浦圭太郎君

理事小島 徹三君 理事坂田道太君

理事小野瀬忠兵衛君 理事富吉榮二君

磯崎 貞序君 白井 秀吉君

及川 規君 松尾 トシ君

森本 義夫君 久芳庄二郎君

布 利秋君

出席國務大臣 河合 良成君

出席政府委員 入江 俊郎君

法制局長官 三橋 則雄君

内閣事務官 日高第四郎君

文部事務官 加賀山之雄君

運輸事務官

本日ノ會議ニ付シテ議案

恩給法の一部を改正する法律案

(政府提出)

○北浦委員長 會議ヲ開キマ

ス——森本義夫君

○森本委員 既ニ多クノ委員カラ

詳細ニ互リマシテ質疑ガアツタノ

デ、重ネテ御伺ヒスルコトモナイ

カト存ジマスルガ、下級軍人ニ對

シマスル恩給ガ如何ニモ少イノデ

アリマシテ、殊ニ傷痍軍人等ノ關
係ヲ見マスルト、餘リニモ氣ノ毒
ニ堪ヘナイト考ヘラレマスル爲
ニ、念ノ爲ニ茲ニ一ツ二ツ御伺ヒ
致シテ見タイト思ヒマス

昭和二十一年勅令第六十八號ニ
依リマシテ、軍人、軍屬及ビ其ノ
遺族ニ對シマスル恩給ト云フモノ
ハ、殆ド全面的ニ抹殺セラレタ譯
デアリマス、唯僅カニ傷病恩給ト
モ言フベキ不具癈疾者ニ對スル増
加恩給ガ殘ツテ居ル、ソレカラ傷
病賜金ノ一部ガ殘サレタト云フヤ
ウナ有様デアリマスルガ、此ノ勅
令ニ依ツテ認メラレタ増加恩給
ハ、表ニ依ツテモ知ルコトガ出來
ル譯デアリマス、即チ身ノ自由モ
利カナイヤウナ第一項症ニ當ル者
ハ、准士官デアリマスルナラバ月
百圓掛ノ七、即チ七百圓シカ貫ヘ
ナイト云フコトデアリマス、以前
ハ増加恩給ヲ貰フ場合ニハ、必ズ
普通ノ恩給モ一緒ニ併給サレテ居
ッタノデアリマスガ、此ノ規定ニ
依リマシテ、單ニ是ダケシカ貫ヘ
ナイ、即チ今ノ例デ申シマスナラ
バ七百圓シカ貫ヘナイ、ソレガ不
具癈疾者ニ對スル増加恩給デアリ
マス、ソコデ以前、即チ普通ニ増
加恩給ガ貰ヘテ居リマシタ時ハ一
體ドノ位ナモノデアツタカ、此ノ
開キガ若シ御分リニナリマスルナ

ラバ、大體デ宜シウゴザイマスカ
ラ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、
此ノ點第一ニ御伺ヒ致シマス

○三橋政府委員 金額ハ當相減額
サレルコトニナリマシタノデゴザ
イマシテ、從來デゴザイマスレ
バ、准尉第一項症デゴザイマス
レバ一千八百圓、是ハ増加恩給
ニ併給セラレマスル所ノ普通恩給
ハ最短ノ在籍年數、斯ウ云フ前提
ニナツテ居リマス、ソレカラ今度
ノ改正ノ規定デ計算致シマスルト
七百圓デアリマス、是ハ今度ノ勅
令ニ依リマスル所ノ二十年以上
在職シタ場合ニ於キマスル下給ハ
除イテ居リマス、是ハ大シテ大キ
イ金額デモゴザイマセヌノデ、大
體ノ御見當ヲ立テ、戴ク上ニ於テ
ハ、サウ大シタモノデハナイト思
ヒマスノデ除イテデアリマス、大マ
カニ申上ゲマシテ七百七十圓前
後、斯ウ云フヤウニ御承知ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

階級ノ罪ハ、當ニ萬死ニモ當ルト
存ジマス、斯ウ云フ連中ガ恩給ヲ
失フト云フコトノ如キハ當然デア
リマシテ、場合ニ依ツテハ命マデ
失フベキデアリマス、併シ唯是レ
上官ノ命ニ服シタト云フニ過ギナ
イ所ノ下級軍人、其ノ中デモ、無
事デ歸ツテ來タ者ハ兎モ角ト致シ
マシテ、不具癈疾ニナツタ者ダケ
ハ、何トシテモ國家ノ手ニ依リマ
シテ救フベキデアリマスマイ
カ、ソレモ今後斯ウ云フ方々ガ、
マダ何處マデモ戰爭ヲ金デル危險
ガアルト云フナラバ、是ハ又別論
デアリマスガ、今ヤ國ヲ擧ゲテ平
和ノ日本ノ建設ニ邁進シテ居ル、憲
法ヲ改正致シマシテ、戰爭ノ絶滅
ヲ圖ラウトシテ居ル今日、是等下
級軍人ノ方々ハ、孫子ノ末マデ戰
爭ニハ參加サセナイト云フ氣持ヲ
持ツテ居ルコトハ明白デアリマ
ス、重イ罪ヲ犯シマシテ處罰サ
レ、刑務所ニ繋ガレタ者デモ、食
事ダケハ食フニ事缺カヌヤウニ充
ガハレテ居ルノデアリマス、病氣
デアルト云ヒマスレバ醫者ニモ掛
ケテ呉レルデアリマセウ、況シテ
國ノ爲メダト教ヘ込マレ、國ノ爲
メダト自分モ信ジ込シテ働イテ參
リマシタ兵隊達、而モ其ノ中デモ
不具癈疾トナツタ者ダケハ、何ト
シテモ國家ノ温カイ手ニ依ツテ之

ヲ救済スベキデハナイカ、軍人ト
カ軍人デナイトカ云フコトヨリ
モ、一同胞トシテ、國民トシテ、
斯ウ云フ方々ハ救フベキデハナイ
カト考ヘル譯デアリマス、ソコデ
是等ノ方々ニ對シマスル傷病恩給
ダケハ、何トシテモ今少シ増額
シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ
居ル譯デアリマス、此ノ點ニ付キ
マシテ、今後政府當局ニ於キマシ
テハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リ
マスルカ、先程ノ例ニ出マシタヤ
ウニ、七百圓デ身ノ不自由ナ人間
ニ食ツテ行ケト云フコトハ、寧ロ
ソレハ死ネト云フコトニモ當ル譯
デハアリマスマイカ、政府當局ハ
此ノ傷病者ニ對スル恩給、勅令デ
言ヒマスルト増加恩給トナツテ居
リマスガ、此ノ増加恩給ヲ何トカ
シテ増加シタルト云フ氣持ハア
リマスマイカ、私ハ假ニ文官ノ恩
給ヲ割イテモ、是等ノ氣ノ毒ナ方
方ノ爲ニハ十分ナル手當ヲスベキ
ダト思ツテ居リマスガ、政府ニ對
シマシテ此ノ點ノ所見ヲ御伺ヒ致
シタイト存ジマス

○三橋政府委員 今ノ御質問ニ
對シテ御答ヘシマス前ニ、ドウ云
フ風ニシテ今度ノ勅令ガ出來マシ
テ、斯ウ云フ風ナ金額ニナリマシ
タカト云フコトヲ、一應簡單ナガ
ラ申上ゲルコトガ、御理解ヲ得ル

上ニ宜イノデハナイカト思ヒマス
ノデ、此ノ點一寸申上ゲテ置キタ
イト思ヒマス

昨年十一月二十四日聯合國最高
司令部カラ發セラレマシタ覺書ニ
ハ、傷病軍人ニ對シマスル恩給ニ
付キマシテハ、例外的ニ認メラレ
ルヤウナ趣旨ノコトガ書イテゴザ
イマシタガ、ソレハドウ云フ風ナ
表現ニナツテ居ツタカト申シマス
ト、非軍事的ナ原因ニ基キマスル
所ノ、肉體の傷害ヲ受ケマシタ者
ニ對シマシテ、支拂ハレル最低ノ
保障ノ割合ヲ超エナイ程度ニ於テ
支拂フコトハ差支ヘナイ、斯ウ云
フ風ナ趣旨ノコトガ明示サレタノ
デアリマス、ソコデ非軍事的ナ原
因ニ基キマスル所ノ、肉體の傷害
ヲ受ケマシタ者ニ對シマシテ支拂
ハレル最低ノ保障ノ割合ヲ規定シ
タ一般的ノモノト致シマシテ、現
在アリマスモノハ厚生年金保險法
デアリマスカラ、此ノ厚生年金保
險法ニ規定セラレテ居リマス所ノ
傷害年金、傷害手当金ト云フモノ
ヲ基準ニ取リマシテ傷病者ノ恩給
ノ金額ヲ決メル、斯ウ云フ風ナコ
トニ、聯合國最高司令部ト色々御
話ヲ致シマシタ結果相成ツタ次第
デゴザイマス、此ノ厚生年金保險
法ノ中ニアリマス所ノ、傷害年金
或ハ傷害手当金ノ金ノ出シ方ニ依
リマシテ出シマスルト、准士官デ
ゴザイマスレバ先程申上ゲマシタ
ヤウナ金額ニ大體落付ク、斯ウ云

フコトニナツテ參ツタノデアリマ
ス、之ニ付キマシテハ恩給ノ性質
カラ言ヒマシテ、又厚生年金保險
法ノ性質カラ言ヒマシテ、其ノ間
ニ金額ニ於テ相當ノ徑庭ガアリマ
スコトハ、制度ノ趣旨其ノモノガ
違ヒマスル以上已ムヲ得ナイコト
デゴザイマスルノデ、軍人ノ傷病
者ニ對シマスル恩給ヲ、厚生年金
保險法ノ給付金額ニ依ツテ支給ス
ルト云フコトニナリマスレバ、相
當減額サレルコトニナリ、私達ト
シマシテ、國民感情ノ點カラシテ
好マシカラザル結果ニナリマスノ
デ、此ノ點ハ出來得ルコトナラバ
避ケタイト思ヒマシテ、色々ト苦
心ヲ重ねテ來マシタノデゴザイマ
スガ、外ノ方法ニ依リマシテ聯合
國最高司令部ノ認可ヲ懇請スルト
云フコトハ、到底困難デアルト云
フ事情ニ立至リマシタ結果、已ム
ナク斯ウ云フ風ナコトニ致シタ次
第デアリマス、斯様ナ次第デアリ
マスノデ、一般的ナ厚生年金保險
法ニ於ケル、今ノ傷害年金トカ、
或ハ傷害手当金ト云ツタモノノ給
付ノ金額ガ増額サレテ來ルト云フ
コトニナリマスナラバ、ソレニ關
聯致シマシテ、現在ノ傷病者ニ對
シマスル所ノ恩給ノ金額モ増額サ
レテ來ル、斯ウ云フ風ニ大體想像
ハ致シテ居リマススケレドモ、併シ
今マデ私達ガ關係ノ向キト相談致
シマシタ所カラ推スナラバ、厚生
年金保險法ノ傷害年金、傷害手当

金ノ給付金額ヲ其ノ儘ニシテ置キ
マシテ、軍人ノ傷病恩給ダケヲ引
上ゲルト云フコトハ、或ハ難カシ
イノデヤナカラウカト思ツテ居リ
マス、今御話ノヤウニ、是カラモ
色々ト檢討ヲ加ヘテ行キマシテ、
傷病者ノ恩給ヲ増額ラシテモ差支
ヘナイ、又増額ノ認可ヲ懇請シテ
モ差支ヘナイト云フヤウナ風ノ事
情ガ認メラレルヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、私達ト致シマシテハ、
出來ル限り其ノヤウナ風ニ出來ル
ヤウ努力致シタイト考ヘテ居リ
マス

○森本委員 一應コデ打切ツテ
置キマス

○北浦委員長 松尾君

○松尾委員 既ニ皆サンガ色々御
聽キニナツタ後デモアリ、政府委
員モ大變興味ガナササウデスル
ラ、簡單ニ御尋ネシタイト思ヒマ
ス、恩給ヲ支給サレル者ハ、大體
男子ガ對象デアルヤウニ思ハレマ
ス、女子ノ場合ニハ、色々ノ事情
ガゴザイマシテ、恩給ヲ貰フマデ
オ勤メガシテ居ラナイト云フノガ
普通デゴザイマスガ、勤勞スルト
云フ立場カラ申シマス、現今生
產再開ノ聲ガ盛ナル折カラ、夫ヲ、
或ハ子供役所ヤ工場ニ毎日送り
出スベク、其ノ身ノ廻リヲ世話
シ、其ノ上重大ナ責任ヲ持ツテ子
供ノ教育ニ當ルノモ婦人デアリマ
ス、此ノ婦人達ガ家庭内ニアリマ
シテ、苦心ト忍耐ヲ以テノ勤勞ハ

大變大キナモノデアアルニモ拘ラ
ズ、從來オ鍋ヤオ釜ノ臺所用具ノ
ヤウナ風ニ扱ハレテ居リマシタ永
イ永イ歴史ヲ持ツテ居ル日本ニ於
テ、此ノ婦人ノ家庭内ノ勤勞ニ對
シテ、待遇ドコロカ慰安サヘモ與
ヘラレテ居リマセヌ、此ノ婦人ノ
家庭内ノ勤勞ナクシテハ、男子ト
雖モ如何ナル仕事出來ナイト私
ハ信ジテ居リマス、此ノ際憲法並
ニ民法ノ改正ニ依ツテ、男女同權
ガ確立サレマスノデ、婦人ガ養ハ
レルト云フコトガ一掃サレテシマ
フノデゴザイマス、萬一其ノ夫ガ
無能デアレバ、婦人ガ夫ヤ其ノ家
庭ノ生活ヲ保障シナケレバナラナ
イ時代ガ參リマシタ、過去ノ歴史
カラ言ヒマスレバ、一般家庭婦人
ニ對スル何等ノ制度モナイノデ、
夫ノ死亡後ハ直チニ生活ニ困リ、
寧ロ子供ヲ生シテ苦心ヲシテ育テ
タ勤勞ニ對シテノ結果ガ、却ツテ
重イ負擔トナツテ來ルバカリデゴ
ザイマス、而モ此ノ多數ノ婦人ノ
勤勞ヲ擁護スル機關ハ何モナク、
御役所或ハ工場ニ勤メテ居リマス
レバ、「ストライキ」等モ出來ル
ノデスガ、家庭婦人ニハソレモ出
來ナイノデス、此ノ際婦人ノ家庭
勤勞ヲ、男子ノ外デ働クノト同一
ニ認メマシテ、只今ノ恩給法ハ一
切廢シテ、女子モ老後ノ生活ノ安
定ヲ得ラレルヤウニ、男女ヲ込メ
タ所ノ養老年金制ノヤウナモノヲ
御作リニナレバ、日本人全體ガ、

明ルイ氣持デ毎日ヲ送ルコトガ出
來ルト思ヒマスノデ、此ノ養老年
金制ヲ御設ケニナツタラ如何デゴ
ザイマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒシ
タイト思ヒマス

○入江政府委員 女子ガ男子ト並
ビマシテ、勤勞ノ面ニ於テ重要ナ
地位ヲ占メルト云フ御考ヘニ付キ
マシテハ、全ク御同感デアリマ
ス、而シテ女子ノ家庭勤勞ニ對シ
テ、從來ハ御話ノ如ク國家的ナ、
社會的ナ十分ナル關心ガ拂ハレテ
居ナカツタト云フコトモ其ノ通り
デアリマス、隨ツテ將來社會保險
制度ヲ十分擴張シ、又之ヲ合理的
ニシテ行クト云フ面ニ於キマシテ
ハ、御話ノヤウナ面ノ重要性ヲ認
識致シマシテ、之ヲ制度ニ織込ム
ヤウニ考ヘテ行クノガ妥當デア
カト存ジテ居リマス、唯社會保險
ニ付キマシテハ、現在厚生省ガ中
心トナリマシテ研究ヲ續ケテ居
マスガ、先ヅ第一段ニハ、或ハ特
定ノ企業體ニ於テ勤勞ラシテ居ル
者ヲ客體トシテ、ソレノ生活上ノ
保護、或ハ又養老のナ措置ガ考ヘ
ラレテ居リマス、ソレ以外ニ、如
何ナル階層ヲ通ジテモ、獨立ノ色
色ナ活動ラシテ居ル人達ニ對シテ
年金ノ制度ヲ認メルト云フ所マデ
ハ、マダ十分研究ガ行ツテ居ナイ
ヤウニ思ヒマススケレドモ、是ハ單
ニ女子バカリノ問題デナク、男子
ニ付キマシテモ、所謂勤勞者ト云
フヤウナモノニ付テ、國家ガ如何

ヤウニ之ヲ認メテ行クカト云フ問
題ト關聯シテ居リマスノデ、事ハ
種メテ重要且ツ困難性ヲ伴フカト
思ツテ居リマス、將來社會保險ヲ
考ヘマス時ニモ、私共ハ女子ナル
ガ故ニト云フ觀點ヨリハ、寧ロ男
女ハ平等デアリマスカラ、同ジヤ
ウナ立場ニアル男女ト云フモノヲ
取扱ヒマシテ、詰リ形式的デナ
ク、本質的ノ平等ニ於テ各種ノ制
度ヲ立テ、行クヤウニ努力シタイ
ト思ヒマス、御話ノ家庭内ニ於ケ
ル勤勞ニ從事シテ居ル女子ニ對シ
テノ年金制度ト云フ點ハ、洵ニ示
驗深イ御話トシテ承ツテ置キマシ
テ、社會保險制度ノ調査モ現ニ進
メラレツ、リアマスカラ、此ノ方
面ニモ十分御趣旨ヲ傳ヘ、又我々
モ其ノ線ニ沿ウテ研究ヲ續ケテ行
キタイト存ジテ居リマス

○松尾委員 只今ノ御話ニ依リマ
スト、特殊團體ヲ持タナケレバ年
金制度ヲ認メラレナイヤウニ伺ヒ
マシタケレドモ、大體私ノ考ヘデ
ハ、餘リニ優遇スルト働クコトヲ
忘レル者ガ多イト云フ風ニ御考ヘ
デハナイカト思ヒマスガ、人間ヤ
ハリ生レテ來タ以上、何カ働キノ
合間ニ慰安ヲ求メルコトガ樂シミ
デ、唯ボヤツトシテ毎日々過スコ
トハ好ンデ居ラナイト思ヒマス、
政府ハ此ノ社會ニ對スル人々一般
ニ、男女ヲ問ハズ優遇シテヤルコ
トニ御進メ願ヒタイト思ヒマス、
勤勞婦人ノ問題ニ對シテ色々御考

ヘ下サルト申サレマシタノデ、成
ベク早く具體案ヲ御出シニナツテ
戴キタイト思ヒマス、又本當ニ家
庭婦人ノ日常生活ト云ツタラ、下
積ミニナリマシテ、少シモ生活ヲ
シイモノガナイノデゴザイマスカ
ラ、其ノ點重々考慮シテ戴キタイ
ト思ヒマス

次ニ國鐵整理ノ問題ヲ御尋ネ申
上ゲタイト思ヒマスガ、係官ガオ
イデニナリマセヌノデ一時中止ヲ
シテ置キマス

○富吉委員 昨日ノ委員會ニ於キ
マシテ、磯崎、白井兩員カラ、恩
給廢止ノ意思ノ有無ニ付テ質サレ
タノニ對シマシテ、入江長官、三
橋局長カラ其ノ意思ナシト云フコ
トヲ言明セラレタノデアリマス、
併シナガラ私ハマタ疑念ガゴザイ
マスノデ、先ヅ此ノ點ニ付テ一點
御伺ヒ致シタイノデアリマス、言
フマデモナク、恩給ナルモノハ其
ノ青春ノ時代カラ壯年ノ時代ヲ通
ジテノ國家ニ對スル御奉公ニ對シ
テ、國家ガソレヲ保障スルト云フ
ヤウナ意味合ニ於テ出スノデアリ
マスガ、何トシテモ、國家ニ對ス
ル御奉公ハ決シテ公務員ダケガヤ
ツテ居ルノデハアリマセヌ、生キ
トシ生ケルモノ、國民悉クガ國家
ニ對シテ御奉公シテ居ルノダト云
フコトニ付テハ、ヨモヤ御異存ハ
ナイト思ヒマス、私共ハ此ノ所謂
公務員ニ對スル恩給制度、年金制
度ト云フモノハ一種ノ特權ダト思

フ、特權トシテ存在シテ居ル、隨
ヒマシテ、一般國民思想ニ及ボス
影響モ可ナリ強イモノガアツテ、
過去ニ於テモ恩給亡國ト云フヤウ
ナコトガ、國民ノ間ニ屢々論議サ
レタノデアリマスガ、殊ニ敗戦後
ノ今日、所謂民主日本ノ建設ト云
フ時ニ、公務員ダケガ、其ノ老後
ヲ保障セラレルト云フヤウナ特權
ガアツテ然ルベキモノカドウカ、
斯ウシタ點カラ考ヘテ見テ、私ハ
此ノ際思ヒ切ツテ之ヲ廢止スル方
ガ宜イノデヤナイカト考ヘルノデ
アリマス、「マツカーサー」司令
部カラ、軍人ノ恩給年金ヲ廢止セ
ヨト云フヤウナ指令ガ來タカラヤ
ツタ、文官ニ付テハ別ニ指令ガナ
イカラヤラナイ、斯ウ云ツタヤウ
ナ受身ノ態勢デモノヲ考ヘテ居ツ
タノデハ、本當ニ日本ノ再建ハ覺
束ナイト私ハ思フ、何トシテモ日
本人自身ガ、民主主義ヲ自分ノモ
ノトシテ身近カニ感ズルコトニ依
ツテノミ、日本ノ再建ハ成立ツト
思フ、此ノ意味カラ政府ガ茲ニ思
ヒヲ新タニシテ——軍人ハ既ニ袋
叩キニ遭ツテ居ルノデアアル、官吏
モ亦軍人ト一緒ニナツテ、國民ヲ
指導シテ此ノ戰爭ヲヤツテ來タノ
デアル、私ハ何モ官吏ノ個人々々
ヲ咎メテ居ルノデハアリマセヌ、
併シナガラ斯ウ云フ人々ノミニ此
ノ恩給年金ト云フヤウナ、所謂特
權ガ依然トシテ殘サレテ居ルト云
フコトハ、私ハ腑ニ落チナイト思

フ、此ノ點ニ付テハ政府ハ御考ヘ
ニナラナイノカ、勿論現在ニ於ケ
ル財政上ノ面カラ言ツタラ、恩給
亡國ナドト云フ議論ハ起ツテ來マ
スマイ、九牛ノ一毛デス、併シナ
ガラ是ハ昨日發表サレマシタ所謂
レノ昂進ニ依リマシテ、是等ノ問
題ニモ相當ナ膨脹ガ豫定セラレ
ト思フ、將來ニ於テハ國家財政上
ノ建前カラモ、相當考慮サレナケ
レバナラヌト思フ、斯ウ云フ特權
ヲ一ツ御廢止ニナツタラドウカト
私ハ思フ、モウ一ツハ、現在支給
サレテ居ル額デハ、昨日モ色々御
質問ガアリマシタガ、迎モ老後ノ
生活ノ保障ニハナリハシナイ、雀
ノ涙程ノ年金ヲ貰ツテ、ソレデ食
ツテハ行ケナイ、恩給ダケデ食ツ
テ行クト云フ話モアリマシタガ、
ソシナコトハ絕對ニ不可能デア
ル、斯ウ云フ生活ノ保障トモナラ
ズ、貰ツテ居ルト云フ一種ノ有難
迷惑ト言ヒマスガ、サウ云ツタヤ
ウナ特權ヲ廢止スルト云フコト
ハ、今日ノ時勢ニ於テ極メテ大事
ナコトデアルト思フノデアアリマ
ス、更ニ從來年金制ト云フヤウナ
モノヲ採入レマスル一ツノ、是ハ
表向キノコトデハナイガ、官吏、
公務員ニ優秀ナ者ヲ入レル爲ニ
ツノ特典ヲ設ケタ、是モ過去ニ於
テハ一應ノ事實デアツタノデアリ
マスルガ、併シナガラ今後及ビ將
來ニ於テ、サウ云フ心配ハ毛頭ナ

イト思フノデアリマス、殊ニ一般
國民ガ此ノ戰爭ニ依ツテ受ケマシ
タ犧牲ノ均衡トモ睨ミ合ハセ、國
民思想ノ動向ト云フヤウナモノカ
ラ致シマシテ、本當ニ日本ノ再出
發ニ當ツテ、私ハ此ノ際思ヒ切ツ
テ、自ラノ手デ自ラノ特權ヲ廢止
スルト云フヤウナ心構ヘガ、官吏
ニ於テ、重ネテ當局ノ御意向ヲ承
リタイト思ヒマス此ノ意味モアツ
テ然ルベキデハナイカト思フ

○入江政府委員 只今ノ御尋ネニ
御答ヘヲ申上ゲマス、恩給ヲ廢止
スルカドウカト云フ點デアリマス
ガ、是ハ前回ニモ申上ゲマシタヤ
ウニ、政府トシテハ、恩給ヲ文官
ニ付テ全面的ニ廢止スルト云フ考
ヘハ、今日持ツテ居ラナイノデア
リマス、一體恩給ハドウ云フ本質
ノモノデアアルカト云フコトニ付キ
マシタハ、色々學者ノ間ニモ議論
ガアリマスガ、サウ云ツタ議論ヲ
別ニシマシテモ、要スルニ恩給
ガ、今日ノ制度カラ申シマス、
公務員ガ其ノ勤務ニ對シマスル反
對給付トシテ、退官後若クハ退職
後、國家又ハ公共團體カラ一定ノ
扶助ヲ受ケルノデアリマスガ、ソ
レニ依リマシテ結局受給者ノ生計
ヲ支持シ、又ハ之ヲ維持シテ行ク
ト云フ爲ノ一時金、又ハ年金デア
ルト思ヒマス、ソコデ此ノ恩給
ハ、要スルニ性質ハ二種類アルト
思フノデアリマシテ、恩給ノ一ツ
ノ面ノ性質カラ申シマス、結局

公務員ヲ使用シテ居ル所ノ使用者タル國家又ハ公共團體ガ、其ノ勤務ニ對スル報償トシテ、使用費トシテノ給付ヲスルト云フ面ガアラウト思フノデアリマス、今一ツノ面カラ申シマス、使用セラレタ者ガ、其ノ勤務關係ヲ離レマシタ後ニ於ケル生活ヲ何トカ支持シテ行ク、又扶助シテ行クト云フ性質ガアラウト思フノデアリマス、言換ヘルナラバ、一方ハ使用者トシテノ勤務ニ對スル手當ト云フ面ト今一面ハ社會生活ノ扶助ト云フ面デアラウト思フノデアリマス、此ノ前者ノ面、即チ使用者トシテ勤務ニ對スル報償トシテ、辭メタ後マデ給與ヲスルト云フコトハ、是ハ一般ノ私設ノ企業體ニ於キマシテモ屢ミアルコトデアリマシテ、勤務關係ノ性質カラ見テ、決シテ之ヲ特權トカ、或ハ又非常ニ不合理ナモノデアルト考ヘル必要モナイノデハナイカ、寧ロ自分ノ所デ働イテ居ル間ニ、其ノ人ノ能力モ段々ト減損シテ行クノデアリマスカラ、ソコデ減損能力ヲ將來ニ於テ補填シテヤルト云フ心遣ヒヲ、使用主トシテハシヤルト云フコトハ、其ノ程度如何ニモ依リマスケレドモ、十分理由ガアルコトノヤウニ思ヒマス、ソレカラ又、辭メテシマツタ後デ生活ニ困ツテシマツテハオ氣ノ毒デアルト云フ點カラ、之ヲ援護シテヤルト云フ面、是ハ必ズシモ使用主ガシナク

テモ宜イ、寧ロ社會全般ノ責任ニ於テ之ヲヤツテ行クト云フコトガ妥當ナコトカト思ヒマスケレドモ、其ノ場合ニ於キマシテモ、從前其ノ者ト特別ナ勤務關係ニアツタ者ガ、サウ云フヤウナ作用ヲ分擔致シマシテ、老後ニ於ケル生活ヲヒマスカ、退職後ニ於ケル生活ヲ援助シテヤルト云フコトモ、是ハヤハリ社會生活上、或ル見方カラ言ヘバ美シイ行キ方デアリヤウニ思フノデアリマス、然ルニ文官ニ付キマシテハ、今モ御話ガアリマシタヤウニ、今日ノ狀態カラ申シマス、一方ニ於キマシテハ軍人ノ恩給ハ廢止サレテシマツテ居ル其ノ爲ニ先程森本委員モ仰シヤツタヤウニ、洵ニ我々トシテ斷腸ノ思ヒヲスルヤウナ狀態ニナツテ居リマス、ノミナラズ、今日ニ於キマシテハ多數ノ戰災者ガ充滿シテ居リマシテ、住ムニ家ナク、食フニ食ナシト云フ御氣ノ氣ナ方々ガ澤山居リマス、又復員者トシテ、非常ニ數多イ方々ガ今日我が國內ニ於テ其ノ日ノ生活ニ喘イデ居ルト云フコトモ、我々ハ洵ニ涙ナクシテ見ラレナイ狀況ト思フノデアリマス、サウ云フ狀況ノ下ニ今日文官ノ恩給ヲ考ヘマスケルト、如何ニモ特權的デアルト云フヤウナ感じガ強イト思ヒマスケレドモ、是ハ今日ニ於ケル狀態ナノデアリマシテ、恩給本來ノ性質ガ特權的ナモノダト云フマデノコトモ

ナイノヂヤナカラウカ、寧ロ恩給ノ制度ニ對シマシテハ、今申シマシタヤウニ、使用主トシテノ給與ノ原則ト謂ハ、社會保險ノ性質ノ面トラ分ケテ考ヘマシテ、兩方トモ公平ニ、又合理的ニ之ヲ建設シテ行クト云フ風ニ向フベキデハナカラウカト思フテ居ルノデアリマス、ソコデ將來恩給ニ付キマシテハ、我々モ廢止スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセマスケレドモ此ノ制度ヲ十分合理的ニ考ヘテ行キタイ、只今申シマシタ使用主トシテノ面、即チ辭メタ時ニ能ク民間ノ會社銀行等ニアリマスヤウナ退職獎金ヲ一時給與スルトカ云フヤウナ面、ドチラカト言ヘバ一時的ナ給付ノ方ハ、是ハ主トシテ使用主トシテノ給與デアラウト思フノデアリマスガ、其ノ方面ハ、ヤハリ官吏ニ付キマシテハ國家ガ使用主デアリマスカラ、其ノ面ニ於テ今日此ノ恩給ノ制度ト云フモノハ維持シテ行クトガ相當デハナカラウカ、併シ社會保險の方面カラ申シマス、今日ハ既ニ厚生年金保險等ノ制度モ發達シテ居リマスカラ、ソレ等ト合同スルカ、或ハ又合同シナイニシテモ、同ジヤウナ思想ノ下ニ、共通ノ基盤ニ於テ之ヲ考ヘテ行クト云フ風ニ行ツタラドウデアラウカト、目下研究中デアリマシテ、マダ結論ニマデ到達シマセマスケレドモ、官吏ノ使用主トシテ國家ガ給與スル面ハ、

ヤハリ恩給トシテ官吏勤務ノ特殊性ニ鑑ミテ、之ヲ維持シテ行ツタラドウデアルカ、併シナガラ社會保險の制度ノ面ニ於キマシテハ、使用主デアアル國家ハ、同時ニ又國家社會ノ利益ヲ代表スル面ヲ持チマスカラ、其ノ面ニ於テ國家ガ、ヤハリ官吏其ノ他ノ公務員ニ對スル社會保險のオコトモ自身デアツテ行クガ宜イカ、或ハ今日アリマスル厚生保險のニ、官民ヲ問ハズ社會保險ノ中ニ之ヲ合體スルガ宜イカ、是ハ十分研究シテ行キタイト思ヒマス、色々申上ゲマシタガ、要スルニ恩給ト云フモノハ、只今ノ感情カラ言フト、如何ニモ文官ダケガ非常ナ旨イ目ヲ見テ居ルヤウニ見エルカモ知レマセマスケレドモ、熟々考ヘテ見マス、社會保險ノ制度トノ關聯モアリマスノデ、恩給ハ恩給トシテ存在ノ理由ガアルヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ先程御話モアリマシタガ、軍人恩給ニ付テハ司令部ノ命令ガアツテ廢メタデアラウラ好イコトニシテ居ルノデアリマカト云フヤウナ風ニモ一寸聞エマシタケレドモ、我々トシテハ決シテサウ云フ風ナ感じハ持タナイノデアリマシテ、十分自主的ニ恩給ノ制度ヲ考ヘ、公務員トシテ十分ナ働キヲスルガ爲ニ必要ナ制度トシテ、之ヲ合理化シテ行キタイト云フ念願ニ燃エテ居ルノデアリマ

ス、尙ホ支給額ノ點ニ付キマシテ御話ガゴザイマシタ、今日ノヤウニ雀ノ涙ノヤウナ金ヲヤツテ居ルノデハ、寧ロナイ方ガ宜イノデハナイカト云フ點、此ノ點ハ實ハ恩給ノ見地カラ考ヘマスカラバ、御承知ノヤウニ貨幣價值モ大イニ下落シテ居リマス今日デアリマスカラ、十分増額ト云フコトガ出來レバ、スルコトガ望マシイノデアリマス、ケレドモ、此ノ點ニ付キマシテハ、單ニ恩給ノミノ見地カラ結論ヲ導クコトハ困難デアリマシタヤウニ、今日ニ於キマシテハ、我が國ノ國家社會生活ノ中ニ、隨分氣ノ毒ナ方々ガ澤山充滿シテ居リマス、恩給ダケノ見地カラ申シマシテモ、軍人デ以テ普通恩給ヲ貰ツテ居ル人ガ、是ガ六、七十萬アツタノガ貰ヘナクナツテシマツタ、然ルニ文官ハ普通恩給ヲ貰フ者ガ十萬内外デアリマスケレドモ、其ノ人達ハ依然トシテ貰ツテ居ル譯デアリマス、ソコデ從前ノ恩給ノ受給者ノ大部分ハ恩給ヲ貰ヘナクナツテ、其ノ中ノ二、三割ノ者ガ結局恩給ヲ貰ツテ居ルト云フ點、是等ノ點カラ考ヘマスト、文官ノ恩給ヲ此ノ際増額スルト云フコトハ恩給ダケノ見地カラ見ルナラバ望マシイトモ言ヘマスケレドモ、社會全體ノ公平ノ見地カラ考ヘマスト、如何ニモ忍ビナトノイコヤウニモナルノデアリマ

ス、ノミナラズ、先程モ申シマシ
タヤウニ、今日ハ多數ノ戰災者、
又ハ復員者等ガ居リマシテ、是等
ガ洵ニ御氣ノ毒ナシ生活ヲシテ居
ルト云フ状態デアリマスカラ、國家
財政ノ見地カラ申シマシテモ、恩
給ノ受給者タルト然ラザルトハ問
ハズ、本當ニ生活ニ困窮シテ居ル
者ニ對シテ出來ルダケノ手ヲ差伸
ベテ行ク、又、財政的ノ餘裕ガア
レバ、出來ルダケ其ノ方ニ金ヲ使
ツテ行カケレバナラヌ狀況デア
リマス、失業救済ト云フヤウナ面
ニ付テモ、出來ルダケ金ヲ使ツテ
行カケレバナラヌ狀況デアリマ
スノデ、此ノ受給者ダケニ付テ、
普通恩給ニシテモ僅カ十萬乃至十
一萬位デアリマスカラ、金額トシ
テハ大シタ金デハナイカモ知レマ
セヌケレドモ、其ノ金ヲ特ニソレ
等ノ人ノ爲ニ出スト云フコトハ、
ドウモ我々トシテモ今日ナシ得ナ
イヤウニ考ヘテ居リマス、要スル
ニ今日ノ金額ガ極メテ少イト云フ
點ハ認メマスケレドモ、是ハ國家
財政ノ見地、及ビ今日ノ社會狀況
カラ申シマシテ、其ノ方ダケニ増
額スルト云フコトハ洵ニ困難デア
ル、ソレ等ノ恩給金額ノ點モ、ヤ
ハリ恩給制度ヲ根本的ニ、先程申
シマシタヤウナ線ニ沿ウテ考ヘマ
シテ十分合理的ニ之ヲ建直シテ、
一般ノ社會保險、或ハ厚生年金保
險等トノ均合ヒヲ以テ考ヘテ行キ
マス場合ニ、恩給ハ恩給トシテ十

分意味ガアルヤウナ金額ニシテ行
キタイ、斯ウ云フ念願ヲ持つテ居
ルノデアリマス

○**軍務委員** 只今長官カラ廢止ス
ベカラザル理由ニ付テ、總ニ御述
ベニナツタノデアリマスルガ、要
スルニ恩給ヲ與ヘル恩給制度其ノ
モノノ根本理念ト、ソシテ又ソレ
ニ依ツテ受ケル受給者ノ恩惠ト云
フモノト、一般社會ニ及ボス影響
トノ開キノ問題ニ對スル考ヘ方ノ
違ヒダト思フノデアリマス、私ハ
依然トシテ、此ノ國民ノ犠牲ト、
軍人ノ恩給年金廢止ト、更ニ又今
日ノ日本ノ財政狀態、ソレ等トラ
睨ミ合セテ、此ノ際成程恩給制度
ニモ全然意味ガナイトハ申シマセ
ヌ、アツテ今日マデ續ケテ來タモ
ノダケレドモ、コンナモノハ廢止
シテモ、官吏ノ思想ノ上ニハ大シ
テ惡イ影響ヲ與ヘナイノデヤナイ
カ、國家ノ事務ヲ遂行スル上ニ於
テ、支障ナイノダト云フ考ヘノ下
ニ御尋ネシタノデアリマスガ、結
局是ハ意見ノ相違デアリマシテ、
幾ラ言ツテモ盡キナイコトデアリ
マス、只今長官ハ「マツカサー」
司令部カラ指令ガナカツタノヲ好
イコトニシテ、此ノ方ダケハ手ヲ
着ケナカツタノデヤナクテ、之ニ
付テモ自主的ニ考ヘテ居ルダト
云フ御話ガゴザイマシタガ、是ハ
洵ニ御氣分トシテハ結構ダト思フ
ノデアリマスケレドモ、此ノ恩給
法ノ改正ヲ見テ見ルト、何處ニモ

サウ云フ積極的ナ面ノ何等ノ方策
ガ現ハレテ居ナイヤウデアリマ
ス、改正ニナツタ點ハ所謂整理デ
アル、官吏制度ノ改革ニ伴フ所ノ
隨伴的ナ改正デゴザイマシテ、何
等ノ積極的ナモノガ織込マレテ居
ナイ、此ノ恩給制度ニ付テ、何カ
特ニ此ノ點ヲ日本再建ノ上ニ積極
的ニ御考慮ヲ御拂ヒニナツタト云
フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、
其ノ點ハドウ云フ點デゴザイマセ
ウカ

○**入江政府委員** 御話ノ如ク、今
度ノ改正案ハ洵ニ事務的ナ改正案
デアリマス、私共ハ恩給ノ制度ニ
付テ、ヤハリ根本的ナ檢討ヲ加ヘ
ルベキダト思ヒマシテ、實ハ今年
ノ初メ頃カラ、内部ニ於キマシテ
ハ屢ニ會合ヲ催シ、研究モシテ居
ツタノデアリマス、併シナガラ恩
給ノ制度ハ先程申シマシタヤウナ
特殊ノ點ヲ考慮シ、社會保險ト睨
ミ合セテ研究スル必要ガアリ、且
又恩給ハ財産的ナ給與デアリマ
ス、ソコデ今日ノ如ク貨幣價值ガ
非常ニ浮動ラシ、又物價ノ高低ガ
著シイ場合ニ於キマシテハ、中々
合理的ナ所ニ之ヲ置クコトガ困難
デアツタノデゴザイマス、例ヘバ
問題ニナリマス點ハ、色々アリマ
スガ、高額所得者ノ場合ニ恩給ヲ
ドノ程度停止スルトカ、或ハ又若
イ者ロハ、恩給ヲ或ル年限ニ達ス
ルマデハ停止スルトカ、又恩給ヲ
貰フマデノ勤務年限ヲモウ少し長

クシタラドウカト云フヤウナコト
モ、色々研究シタノデアリマスケ
レドモ、何分ニモ一方ニ於テ合理
的ナ、又周到ナ社會保險制度ヲ考
ヘヨウトシテ、今日色々研究ヲ進
メテ居リマス關係上、ソレ等トラ
關聯ヲ以テ研究ヲ進メヨウト云フ
コトデ、今度ノ議會ニ於キマシテ
ノ恩給法改正ニハ、實ニ間ニ合ハ
ナカツタノデアリマス、隨テ洵ニ
事務的ナ精彩ノナイ改正ニナリマ
シタガ、是ハ終戦後ノ狀況ニ應ズ
ル不可缺ノ整理ヲ御願ヒシタノデ
アリマシテ、是ト並行シテ、モツ
ト根本的ナコトハ今日考ヘテ、來
ルベキ適當ナ機會ニハ、是非トモ
内容ノ改正ヲ御審議ヲ願フ機會ヲ
實ハ持チタイト考ヘテ居リマス

○**軍務委員** サウスルト、先程ノ
御意見デハ、此ノ際國民モ困シテ
居ルシ、又色々均衡ノ問題モア
リ、財政ノ都合等モアルカラ、恩
給ノミニ付テ増額スルコトハ出來
ヌ、増額セスト云フヤウナ、御言
葉デアツタガ、只今ノ御言葉ヲ聽
イテ見ルト、何カ近イ將來ニ、又
此ノ内容ヲ色々變ヘテ行クト云
フ、ソレノ最モ主タル目的ハ、所
謂高額所得者ノ停止ノ問題、若イ
者ニハヤラナイト云フヤウナコト
デアリマセウガ、實質問題トシテ
増額、詰リ惡ク云ヘバ、世間ノホ
トボリガ冷メタ頃ニナツタラ一寸
増額シテヤラウカト云フヤウナ意
圖デヤナイ、多分増額サレナイト

云フ風ニ理解シテ宜シウゴザイマ
スカ

○**入江政府委員** 其ノ増額ニ付キ
マシテハ、恩給ダケヲ取上ゲテ考
ヘテ見マス、何ト云ヒマシテモ
今日貨幣價值ガ下落シタコトハ歷
然タル事實デアリマスカラ、何ト
カ恩給モ増額シナケレバナラヌト
云フコトモ考ヘテ居ルノデス、併
シ恒久的ナ制度トシテ恩給法ノ中
ニソレヲ盛り込ムト云フコトハ、
今日ノヤウニ非常ニ浮動的ナ時ニ
ハ困難デアルト云フコトガ一方ア
リマスノト、今一ツハ、先程申上
ゲタヤウナ意味ニ於テ、財政的見
地、社會上ノ見地カラ致シマシ
テ、之ニ手ヲ付ケルト云フコトハ
今日出來ナカツタト云フコトヲ申
上ゲテ居ルノデアリマシテ、恩給
ノ制度ヲ社會保險ト並ンデ根本的
ニ變ヘルト云フ場合ニハ、勿論受
給金額ニ付テモ再檢討シテ、適
正ナル金額ニスルト云フコトヲ申
上ゲルノデ、ホトボリガ冷メタ頃
ニボツト出サウト云フ意圖ハ全然
持つテ居リマセヌ

○**軍務委員** 說明ヲ諒トシマシタ
ガ、私ハ依然トシテマダ恩給ヲ存
在セシメナケレバナラヌト云フコ
トニ付テ、十分ナル納得ヲ致サナ
イノデアリマス、隨ヒマシテ、當
局ニ於ケレバシテモ之ヲ廢止シテ
行クト云フ方面モ、併セ御研究ニ
ナラレルヤウニ希望致シマシテ、
此ノ問題ハ是デ打切りマス

○**軍務委員** 說明ヲ諒トシマシタ
ガ、私ハ依然トシテマダ恩給ヲ存
在セシメナケレバナラヌト云フコ
トニ付テ、十分ナル納得ヲ致サナ
イノデアリマス、隨ヒマシテ、當
局ニ於ケレバシテモ之ヲ廢止シテ
行クト云フ方面モ、併セ御研究ニ
ナラレルヤウニ希望致シマシテ、
此ノ問題ハ是デ打切りマス

○**軍務委員** 說明ヲ諒トシマシタ
ガ、私ハ依然トシテマダ恩給ヲ存
在セシメナケレバナラヌト云フコ
トニ付テ、十分ナル納得ヲ致サナ
イノデアリマス、隨ヒマシテ、當
局ニ於ケレバシテモ之ヲ廢止シテ
行クト云フ方面モ、併セ御研究ニ
ナラレルヤウニ希望致シマシテ、
此ノ問題ハ是デ打切りマス

○**軍務委員** 說明ヲ諒トシマシタ
ガ、私ハ依然トシテマダ恩給ヲ存
在セシメナケレバナラヌト云フコ
トニ付テ、十分ナル納得ヲ致サナ
イノデアリマス、隨ヒマシテ、當
局ニ於ケレバシテモ之ヲ廢止シテ
行クト云フ方面モ、併セ御研究ニ
ナラレルヤウニ希望致シマシテ、
此ノ問題ハ是デ打切りマス

○**軍務委員** 說明ヲ諒トシマシタ
ガ、私ハ依然トシテマダ恩給ヲ存
在セシメナケレバナラヌト云フコ
トニ付テ、十分ナル納得ヲ致サナ
イノデアリマス、隨ヒマシテ、當
局ニ於ケレバシテモ之ヲ廢止シテ
行クト云フ方面モ、併セ御研究ニ
ナラレルヤウニ希望致シマシテ、
此ノ問題ハ是デ打切りマス

次ハ官吏制度ノ問題ニ付テ聊カ御伺ヒシタイト思フノデアリマス私ハ長イ間官吏制度ノ改革論者デアツタノデアリマスガ、今日洵ニ殘念ナ機會ニ於テノ官吏制度ノ改革デアリマスケレドモ、一應此ノ

ガアルノデアリマスルガ、一體勅任、奏任、判任トアツタヤツヲ、一級、二級、三級ト云フ又コ、ニ區別ヲ付ケタノハ、ドウ云フ理由デゴザイマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

スル、或ハ又三級ノ官吏デアリマシテモ、特別任用ノ途ヲ相當廣ク認メマシタカラ、其ノ閱歷ニ依リマシテハ、之ヲ三級カラ二級ノ方ニ特別ニ進級サセルト云フコトモ認メヨウ、斯ウナツテ居ルノデ、

性ノ均分ノ上カラ云ツテモ面白クナイカラ、民主化ノ爲ニ、此ノ際百尺竿頭一步ヲ進メテト云ヒマスカ、思切ツテ恩給ヲ廢止シテシマツテ、サウシテ所謂社會保險一本デ行クト云フ方ニ、改メタ方宜

マス、ソレゾカラ一時賜金ト云フノハ、一寸官吏ノ失業保險ノヤウナ性質ヲ持つテ來ナクチャナラヌト思ヒマス、ソレカラ普通ノ恩給ハ、養老年金ノヤウナ性質ヲ持つテ居リマスカラ、之ヲ此處ヘ包含サセルト致シマス、ヤハリ失業保險ノ性質ト、養老保險ノ性質ト

改革ニ手ヲ染メラレタコトハ、私ハ敬意ヲ表スルニ吝カデナイノデアリマス、從來我ガ國ノ官吏制度ハ概シテ、私ハ學者デゴザイマセヌノデ、難カシイ理窟上ノコトハ分ラナイガ、非常ニ身分の差異ガ

○入江政府委員 官吏ノ制度ヲ改正致シマス時ニ、身分のノ不必要ナル差異ヲ置クコトハ適當デナイト思ヒマシテ、從來ノ勅、奏、判ノ區別ハ之ヲ廢止シタノデアリマス、ソコデ事務系統ノ官ハ事務官

此ノ一級、二級、三級ノ區別ハ身分の差異デナクシテ、其ノ者ノ擔任スル事務及ビ能力ノ見地カラ區別シタ一ツノ秩序デアリマス、ソ

ト云ツテモヤハリ養老年金制ダト思フノデアリマス、其ノ名前ハドウデモ宜シイカ、サウ云フ風ナ制度ヲドウシテモ我ガ國ニモ布カナケレバナラス、英國ニ於キマシテ

於テ、技術的ニモウ少シ研究シマセヌト、一寸困難ガアルノデハナイカト思ハレル點ガアリマス、併シ一面カラ言ヒマス、是ハ今ノ御趣旨カラ御質問ガアルノカ、或ハアツタノデハナイカト思ヒマス

アツタ、是ハ身分のナ差異ト、今一ツハ給與關係ニ於テ非常ナ差ガアツタ、殊ニ奏任ハ勅任ニナレマスケレドモ、判任ハモウ殆ド奏任

統一一致シマシタケレドモ、併シ何ト申シマシテモ、官吏ニ付キマシテハ其ノ取扱フ事務ノ程度、及ビ其ノ地位ニ就ク人ノ能力ノ程度ニ

考ヘテ居ルノデアリマス
○北浦委員長 富吉君ニ申上ガマス、河合厚生大臣ガ御見エニナリマシタカラ、同大臣ニ對スル質疑ヲ御始メ願ヒマス

其ノ他ノ國々ニ於テモ、既ニ隨分古クカラスウ云フコトガ實施サレテ居ル、文明國デアリナガラ、我ガ國ニ於テハ今日マデ斯ウ云フヤ

金制度ナリ、養老保險制度ヲ普及サセルト云フ問題ノ解決ト、ソレカラ失業保險ノ解決ト、此ノ二ツガ出來マスレバ、ソレハ全部一聯ノ關係ニナリマスカラ、移動シ得

アリマスケレドモ、殆ド是ハ墓標ノ銘ヲ刻ムダケノモノデ、死ヌ前ニナツテ判任ヲ奏任ニナスト云ツタヤウナ狀態デアツタノデアリマス、之ヲ俸給ノ面カラ致シマシテ

ニ從ツテ、ヤハリ秩序ガナケレバナラナイト考ヘマス、ソコデ一級、二級、三級ト分ケマシテ、事務官ノ中ニモ、中學校ヲ卒業シタ

○富吉委員 私人主シテ恩給法カラ來ル厚生大臣ヘノ質問デアリマシタガ、澤山色々ナコトヲ言ツテシマツタノデ、之ヲ蒸返スノハ

○河合國務大臣 恩給ヲ厚生年金制ノ養老ノ中ニ嚙込マセルト云フ御考ヘ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、只今社會保險調查會ヲヤツテ

金ト云フ制度、或ハ私ハ寧ろ是ハ養老保險ガ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、サウ云フ制度ニ付キマシテハ、是ハ實ハ私就任以來其ノ頭ヲ持つテ居ルノデアリマス、丁

ノ如クコツ／＼ヤツテ居タ判任官ノ者ト較ベマス、其ノ若イ奏任ノ方ガ給料ガ高クテ、非常ニ生活ノ面カラ致シマシテモ不合理デア

程度、或ハ又普通文官ヲ合格シタ程度ノ能力ヲ持つ者ハ、先ヅ三級ノ事務官トシテ任用スル、高等試験デアルトカ、或ハソレヲ合格

給ト云フモノヲ廢止シテシマツテハ、是ハ官吏ハ特權ダシ、今日ノ國民ノ思想ノ上カラモ、又其ノ犧

ト研究シマスケレドモ、私今承リマシタ所デハ、一寸ヤハリ困難性ガアリハシナイカト云フ氣持モ致シマス、ト云フノハ、官吏ノ恩給

度厚生大臣ニナリマシタ時ニ、直グ其ノ力カ何カ、私ハサウ云フコトヲ世間ニモ新聞ニモ申シタコトガアルノデアリマスガ、私ノ頭ヲ端的ニ申シマス、
「グルーブ・

シテ、非常ニ我が意ヲ得タルモノ

付テハ、二級ノ官吏ニ任用スル途ヲ認メル、サウシテ二級ノ者ハ一級ノ方ニ進ムコトガ出來ルヤウニ

給ト云フモノヲ廢止シテシマツテハ、是ハ官吏ハ特權ダシ、今日ノ國民ノ思想ノ上カラモ、又其ノ犧

リト一時賜金ト云フモノト二ツア

端のニ申シマス、
「グルーブ・

インシユアランス」ノ問題ニナル
ノデアリマス、團體保險ノ問題ニ
ナリマス、實ハ私ハ團體生命保險
ト云フモノヲ作りマシタ體験ヲ持
ツテ居リマス、生命保險ヲ十
箇年バカリ經營シマシタノデ、是
ハ國民團體保險即チ國民全體ノ養
老保險——養老及ビ癯疾デスネ、
斯ウ云フモノガ適當デナイカト云
フ氣ヲ持ツテ居リマシタ、是モ
今社會保險調查會デ調査シテ貰
テ居リマスガ、私ノ頭ニ描イテ居
リマスノハ、國民全體ノ養老保險
トナリマス、國庫ガ補助シマス
ト國庫ノ負擔ガ非常ニ大キナル
心配ガアリマス、ヤハリ出來
ルダケ自分デ負擔スルト云フ形ガ
宜イ、自分デ負擔スルト云フト、
負擔能力ニ差別ヲ付ケナケレバ
ナス、例ヘバA、B、C、Dノ階
級デ、Aカラ段々下ゲテ、Dハ
只、或ハ幾ラカ出スト云フ風ノ大
マカナ負擔料デモ考ヘテ、サウシ
テ國民ノ收入ニ應ジテヤツテ行ク
ト云フコトモ、極ク一ツノ方法デ
ハナイカ、是ハ未定案デスガ、斯
ウ云フ考ヘモ持ツテ居ルノデス、
サウ云フ案ニハヤハリ二ツバカリ
ノ大キナ條件ガアリマス、ト申ス
ノハ、養老保險ト云フノハドウモ
通貨ノ購買力ガモウ少シ安定シマ
セスト、是ハ大體ガ無理ナンデ
ス、ダカラ一萬圓掛ケタ保險モ、
此ノ狀況デハ實際ノ購買力ハ五百
圓位、千圓位ニナツテシマツテ居

ルト云フ問題ガ、是ハ養老保險ト
シテ非常ニ重大ナ問題デアル點
ト、ソレカラ富ノ分配ガ御承知ノ
通りニスツカリ變リツ、アル、ソ
レデ結局新興階級ト、段々轉落ノ
階級トノ間ノ安定性ガ少シ付キマ
セスト、今言ウタ收入カラポンボ
ン押ヘテ、A、B、C、D「クラ
ス」ト云フ風ニハ中々行カヌ事情
ガアルノデハナイカト云フ點モ考
ヘナクチャナラヌノデ、何トカヤ
リタイ方法ダト考ヘマス、ケレド
モ、サウ云フ情勢カラ考ヘテ、ヤ
ラナクチャナラヌト云フコトデ、
實ハ社會保險調查會デモ調査シテ
クレテ居ルト思ヒマス、サウ云フ
氣ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ端
的ニ申上ゲテ御諒解願ヒタイト思
ヒマス

○河合國務大臣 國民全體ノ養老
保險ト云フ問題ハ出來ルダケ早ク
ヤリタイト思ヒマス、ト云フノ
ハ、ヤハリ生活補助ノ問題ト非常
ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居リマス
シ、ソレト貯蓄獎勵ト云フヤウナ
思想ト關聯シマシテ、是ハ是非ヤ
リタイト思ツテ居リマスガ、今申
シタ通り少シ技術的ナ難問ガアリ
マスノデ、ヤハリ財界ノ整理ナド
ガ、一旦一寸安定セスト工合ガ惡
イノデヤナイカト云フ氣ヲ持ツ
テ居リマス、併シ是ト關聯シマシ
テ、失業保險ノ方ハ出來ルダケ早
クヤル考ヘデ居リマス

○富吉委員 能ク了承致シマシ
タ、併シ保險制度ニ於テハ、從來
醫療保險ニ對シマシテモ、或ハ農
業保險制度ニ致シマシテモ、非常
ニ作ル時ハエライ氣構ヘデ以テ、
エライ理想ヲ持ツテヤツタノデア
リマスケレドモ、不幸ニシテドウ
モ餘リ實踐ガ上ツテ居ナイシ、時
代時代ノ——醫療保險ナドモ現在
ノ通貨問題トモ關聯致シマシテ、
非常ニ惡イ結果ニナツテ居ルノデ
アリマスガ、是等ノ點ニ付テハ十
分御檢討ニナリマシテ、理想的ナ
モノニ仕上ゲテ戴キタイト云フコ
トヲ希望致シマシテ、先ツ之ヲ打
切りマスガ、更ニ私ハ官吏制度ノ
問題ニ付テ、法制局長官カラ一
級、二級、三級ハ決シテ身分上ノ
差異デナイ、事務取扱ノ都合デア
ルト云フヤウナ御説ヲ承ツタノデ

アリマスガ、洵ニサウアツテ然ル
ベキ問題ダト思フ、併シ現在其ノ
官吏自身ノ考ヘ方ト致シマシテ
ハ、古い情勢モアリマスガ、依然
トシテ結局何ト言ヒマスカ、羊頭
ヲ掲ゲテ肉ヲ賣ツタト云ツタヤ
ウナ、改革ノ仕甲斐ノナイヤリ方
ダト云ツタ風ナ感じヲ持ツテ居ル
ヤウデアリマス、デスカラ今後其
ノ運営ニ付テハ、十分ナル御注意
ト、官吏ノ教育ニ付テ御努力ヲ願
ヒタイト思フノデアリマス、ソレ
カラ私ハ技術者ノ問題ニ付テ、
○北浦委員長 河合厚生大臣ニ對
スル質問デスカ
○富吉委員 是ハ法制局長官デ宜
シイデス
○北浦委員長 ソレデハ松尾サン
ガ十分バカリ厚生大臣ニ御伺ヒシ
タイサウデスカラ——松尾サン
○松尾委員 恩給ニ關聯シマシ
テ、國鐵ノ整理問題ヲ御伺ヒ致シ
タイノデゴザイマス、是ハ生活保
護ニ重大ナ關聯ガゴザイマスノ
デ、偶ニ厚生大臣ガ御見エニナリ
マシタカラ、此處デ御伺ヒシタイ
ト思ヒマス、此ノ國鐵ノ整理ガ、
新聞ニ依リマスト十二萬モゴザイ
マスサウデスガ、女子ノ中デ七萬
四千ト云フ者モアリマスシ、五萬
四千ト云フ者モゴザイマスケレド
モ、此ノ女子ハ戰爭中男子ガ戰地
ヘ行キマシタ後ヲ、國ノ動脈トモ
云フベキ鐵道ヲ、女ノ力デ擔ツタ
ノデゴザイマス、所ガ戰爭ガ終ツ
テ國家ノ財政ガ窮屈ニナツタカラ

ト云ツテ、赤字補填ノ爲ニ、女ハ
生活ノ主體ヲナシテ居ラナイカ
ラ、家庭ヘ歸レバ宜イト云フ風ニ
シテ、女ガ職首ノ第一ノ槍玉ニ舉
ゲラレルト云フ狀態デゴザイマ
ス、女ノ人達ハ御用濟ミダカラト
云ツテ表ヘ放リ出サレルヤウナ恰
好デハ、餘リニ良イ政治ガ行ハレ
テ居ルトハ中サレナイト思ヒマ
ス、例ヘバ茲ニ國鐵従業員六十四
名ヲ基準ニ致シマシテ、調査致シ
マシタ結果ヲ申上ゲテ見マスレ
バ、其ノ中ノ九名ハ生活ノ主體ヲ
ナシテ居ル者デゴザイマス、又其
ノ中ノ三名ハ自分デ生活ノ全部ヲ
シテ居ル人デス、此ノ人達ハ身寄
ガアツテモ、生活保護ノ該當者デ
アツテ、寧ロ偶ニハ其ノ人達ノ面
倒ヲ見デヤラナケレバナラナイト
云フヤウナ狀態デゴザイマス、又
殘リ五十二名ハ九〇%其ノ收入ヲ
家ヘ出シテ居ル、皆デ家ガ出シ
合ツテ食ベテ居ルト云フ狀態デ
ス、尙ホ一府此ノ種類ヲ調べ見
マス、從業員ノ娘トカ姪トカ云
フモノガ多イサウデゴザイマス、
中ニハ戰爭ニ行ツタ儘歸ツテ來ナ
イ方モ澤山ゴザイマスサウデス、
サウシテ斯ウ云フ人達ガ失職スル
ト云フコトハ、明日カラ生活ニ困
ルト云フコトニナツテ、政府モア
ノ三十四億ノ生活保護デハ、ソ
ナニ多數ノ人ヲ保護出來ナイト思
ヒマスカラ、此ノ際先程御尋ネ致
シタノデスケレドモ、一般ノ男女

ヲ基準トシタ所ノ養老年金ノヤウ
ナモノヲ設ケルトカ、或ハ他ニ是
等ノ人達ヲ救フ社會制度ヲ設ケル
トカ云フコトガ、今日ナイ場合
ニ、誠首ハ一應出來ナイノデハナ
イカシラト思フノデゴザイマス、
又此ノ誠首ニ對シマシテ、政府ノ
方ノ御意見ハ如何カト申シマス
ト、國鐵デハ勞働ニ堪ヘナイト云
フヤウナコトモ、一例ニ學デラレ
テ居ルラシウゴザイマスケレド
モ、モウ女子ハ未熟ドコロデハナ
イ、戰爭中ニ能ク仕事ニモ熟練シ
テ居リマスシ、又怠ケ者デアルト
カ、或ハ其ノ任ニ合ツテ居ナイト
云フヤウナ方々ハ、昨年ノ十一月
ト本年ノ二月ニ十一萬人モ誠首ヲ
シ、節ニ掛ケテ、モウ良イ者バカ
リ殘ツテ居ルト申シテ居リマス、
若シドウシテモ國ノ墓所ノ賄ヒガ
窮屈デ、誠首シナケレバナラナイ
ト云フコトニナリマスレバ、是等
ノ人ハドウシテモ闇ノ女ニ流レテ
行ク處ガ重々ゴザイマスシ、モウ
昨年誠首サレタ者ノ中ニハ、大多
數ノ者ガ闇ノ女ニナツテ居ルト云
フヤウナ狀態デゴザイマス、ソレ
デモドウ云フ風ニヤリ繰リヲシテ
モ誠ニシナケレバナラナイ者ヲ出
ス場合ニハ、恩給法モナケレバ、
又社會的ニ之ヲ救済スル特別ノ親
切ナモノガナイカラニハ、明日ノ
糧ニ困ルノデアリマスカラ、失業
保險ノ制定トカ、或ハ失業ノ手當
等ノコトニ付テ詳細ヲ御伺ヒシタ

イト思フノデアリマス、恩給ニ關
聯シテ斯ウ云フコトヲ尋ネルノハ
ト申サレルカモ知レマセヌガ、女
子バカリデナク男子ニ取ツテモ重
大問題ダト思ヒマス、又今度ノ國
鐵ノ誠首ニ際シマシテハ、男子ヲ
基盤ニ置イテ、生活ノ負擔ノ一番
輕イ者カラ段々ニ誠ニシタラ宜イ
ト思フノデアリマスケレドモ、サ
ウ云ツタコトト睨ミ合ハセマシ
テ、失業保險ノ制定及失業手當ニ
對スル詳細ヲ知ラシテ裁キタイト
思フノデアリマス
○河合國務大臣 只今ノ御質問ニ
御答ヘ致シマス、國鐵ノ誠首ニ付
キマシテハ、實ハ私ノ所管デアリ
マセヌノデ、ドウ云フ數字ニナツ
テ、ドウ云フ方面カラ誠首スルカ
ト云フコトハ細カクハ承知致シテ
居リマセヌガ、誠首サレマシタコ
トガ、ソレガ生活保護ナリ、失業
救済ナリノ面カラドウ云フ風ニナ
ツテ行カト云フコトニ對スル範
圍ニ於テ、御答ヘシタイト思ヒマ
ス、只今軍需補償打切り其ノ他企
業整備ト云フコトニナリマスル
ト、是ハ國鐵ハ國家ノ經營デアリ
マスカラ、其ノ金ニハ困ラヌト思
ヒマスケレドモ、一般會社ナド
ハ、ヤハリ預金ガ第二封鎖ナドニ
ナツタリスル關係デ、俸給ノ支拂
ナドニ困ルグラウト云フコトモア
リマスルノデ、サウ云フ點ニ付キ
マシテハ當分ノ中、俸給ノ支拂ニ
ハ困ラヌヤウナ措置ヲ先ヅ執ル積

リデ居リマス、ソレカラ辭メル人
ニ對シテハ、勿論ヤハリ退職手當
ヲ日本ノ慣行ニ依リ、或ハ約束ニ
依ツテ拂フコトト思ヒマスルガ、
慣行及ビ約束ノナイモノニ付キマ
シテ、最低限度ナリ、或ハ大體ノ
基準ヲ示シテ、是レ位ノモノヲ拂
フベキモノグラウト云フコトヲ、
政府カラ明示スル積リデ居リマ
ス、ソレカラ失業手當ト云フ問題
ハ、國庫カラハ只今出ス積リハア
リマセヌ、失業保險ノ問題モ、是ハ
今社會保險調查會デ制度ヲ研究シ
テ居リマシテ、大體成案モ得ラレ
ルノデハナイカト思フノデアリマ
スガ、成タケ早ク之ヲ法制化致シ
タイト云フ積リデ居リマスルケレ
ドモ、勿論此ノ議會ニハ問ニ合ヒ
マセヌ、サウナリマスルト、問題
ハ失業對策ノ問題デ、之ヲドウヤ
ツテ行カト云フコトデアリマス
ルガ、此ノ面ニ付テハ六十億ノ公
共事業ト云フモノガ根幹ニナリマ
ス、ソレカラ進駐軍ノ住宅ヲ建テ
ルトカ云フヤウナ問題、或ハ戰災
地ノ跡片付ヲシタリ、區劃整理ヲ
ヤツタリスルト云フ點ガ重點ニナ
リマスルガ、其ノ外尙ホ此ノ失業
者ノ「プール」ヲ作りマシテ、都
會地ニ於キマシテハ、其處デ機動
的ニ色々道路ノ修繕トカ、戰災地
ノ跡片付ノヤウナ仕事ヲヤラシテ
行クトカ、或ハ授産場ヲ設ケルト
カ、共同作業所ヲ設ケルトカ、職
業輔導所ヲ設ケルトカ云フコト

デ、出來ルダケ收容ラシ、又知識
階級ノ人及ビ技術者ニ對シテハ、
特別ノ就業ノ補助ヲシテ行クト云
フヤウナ態勢ヲ執リマシテ、出來
ルダケ之ヲ吸收シテ行クヤウニヤ
ル計畫ヲ進メテ居リマス、特ニ都
市ノ面ニ付テハ餘程重大ナ關心ヲ
拂ハナケレバナラヌ、サウ云フ點
ニ於テ國鐵ノ誠首サレタ御方ナド
ハ、サウ云フ場合ノ失業救済ノ目
的ニナルコトト思フ次第デアリマ
ス、尙ホ生活保護ノ面ハ、失業者
ナルガ故ニ直チニ生活保護ノ方デ
扶助ヲ與ヘルト云フ譯デアリマ
セヌ、失業者デモ生活ノ出來ル人
ハ扶助ヲ與ヘマセヌ、又失業者デ
アツテ働ケル人——勿論身體ノ工
合ガ惡イトカ、或ハ子供ガ居ツテ
ドウトカ云フノデ、働ケヌ人デ生
活ノヤツテ行ケナイ人ハ其ノ目的
ニナリマスケレドモ、働ク意思ノ
アル人ハ失業救済ノ面デヤツテ行
ク譯デアリマス、併シナガラ働ク
意思ハ持ツテ居ルガ、ドウシテモ
働ク機會ガナイ、サウシテ貯蓄モ
ナクテ生活ガ出來ヌト云フ者ハ、
ヤハリ生活保護救済シテ行クト
云フコトニカラウト思ヒマス、ダ
カラ總テ生活保護ニ來ルノデハナ
クテ、生活保護ニ來ルノハ失業者
ノ中ノ一部ダト思ヒマスケレド
モ、サウ云フ意味ニ生活保護法ヲ
適用シテ行ク積リデ居リマス、サ
ウ云フ風ニ御承知願ヒマス
○松尾委員 只今厚生大臣ノ御話

ヲ聽キマシテ、色々ナ施設ヲ以テ
失業對策ニ當ツテ居ルト仰シヤイ
マシタケレドモ、故ニ振當テ場
合ニ適材ヲ適所ニ當テテ裁カナ
イト、或ル人ニハ其ノ仕事ガ適當
ナク、アレハ怠ケ者ダト一概ニ言
ハレテ、二回目ニハ就職サセテ裁
ケナイト云フ狀態ヲ隨分聞イテ居
リマスカラ、其ノ點ヲ能ク御計リ
ヲ願ヒタイト思ヒマス、又今失業
救済ト云フ問題ヲ御聽キ致シマシ
タケレドモ、失業ヲ致シマシテ、
結局ノ所、私ガ先程申シマシタヤ
ウニ生活保護ニ該當スルト云フ者
ハ、今日失業スルト明日カラ困
ノデス、其ノ場合ニハ生活保護ニ
該當シナイ失業救済デヤツテ行ク
ト仰シヤイマシタケレドモ、失業
シテカラ今度就職スルマデノ間
ヲ、失業救済ニ依ツテ何カ恩恵ト
カ、或ハ救済ヲ受ケラレルノデセ
ウカ、ソレヲ御伺ヒシタイト思ヒ
マス
○河合國務大臣 實際ハ總テ運用
ノ問題ニナツテ參リマスノデ、是
ハ御承知ノ通り全國ニ亙ル組織
デアリマスノデ、末端マデ間違ヒ
ナクヤツテ行クト云フコトハ、實
ハ私モ此處デ言明致シマシテモ仕
様ガザイ話デスガ、出來ルダケ誠
意ヲ以テ、全體ノ運用ノ完全ヲ期
シタイト云フ考ヘデ居リマス
○松尾委員 サウ云フ點デ、地方
ナドノ縣廳ナシニ居リマス役人
ハ、非常ニ「スロー」デ駄目ナン

デス、デスカラ此ノ際新シイ進歩
的ノ官吏ヲ人レマシテ、サウ云フ
所ニ當ラシテ戴キタイト思ヒマス、
失業シタ者ニシテ見マス、命掛
ケノ問題デゴザイマスカラ、篤ト
御願ヒシテ置キマス

〔賛成〕ト呼ブ者アリ〕

○北浦委員長 左様ニ決シマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時五十三分散會

昭和二十一年九月十一日印刷

昭和二十一年九月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局